

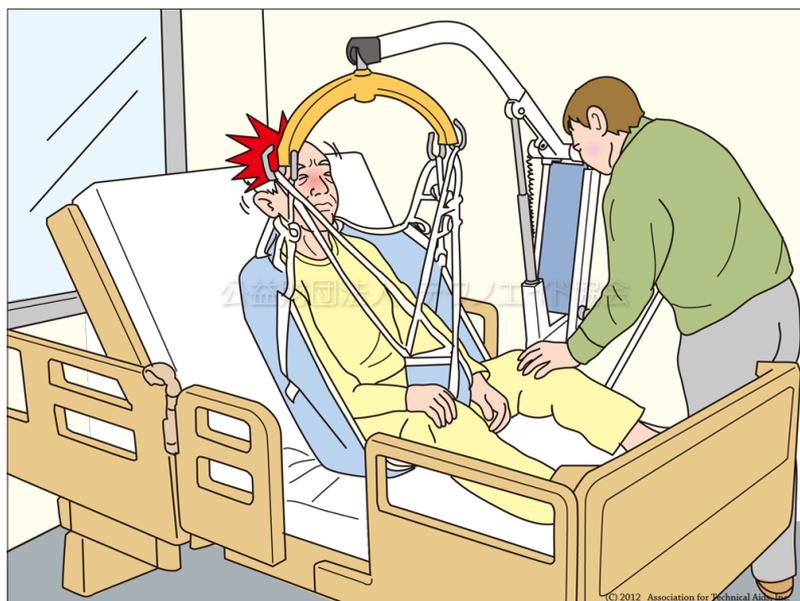
福祉用具ヒヤリハット情報

Case : 80

ハンガーが利用者の頭にあたり、ケガをしそうになる

場面の説明

リフトの操作に集中して利用者から目を離してしまい、ハンガーが利用者の頭にぶつかった



利用シーン

移乗

主な利用場所

寝室

介護保険の種目

移動用リフト（つり具の部分を除く）

分類コード(CCTA95)

123603(吊り上げ式床走行リフト)

介護テクノロジー

-

二次元バーコード



解説

ハンガーは利用者の顔の近くまで接近し、見た目にも恐怖感につながるため、介助者は常に手で押さえ、ぶらつかせないことが基本です。リフトを使った移乗介助には多くの注意点がありますので、それらをしっかりと把握し、練習した上で利用してください。

参考要因

人：介助者に対する操作の指導が十分ではなかった

人：操作の手順、注意点を忘れてしまった

モノ：ハンガーの色等で注意を喚起するデザインになっていなかった

管理：正しい取扱い方法を伝える研修機会が設けられていなかった